

「若年層に対する効果的な広報・ 啓発の取組について」 ～ 実践的立場からの報告 ～

認定NPO法人エンパワメントかながわ
理事長 阿部 真紀

認定NPO法人エンパワメントかながわ

- 2004年団体設立NPO法人格取得
2014年より認定NPO法人
- 暴力のない社会の実現を目指し、ひとり一人が
とても大切な人であるという人権を伝えるワーク
ショップを提供。
- CAP（子どもへの暴力防止）プログラムをベー
スにそれぞれの対象にあったプログラムを開発し、
これまでの13年間に、7400回のワークショップを
提供。約27万人の子どもとおとなが受講した。

2003年10月

デートDVという言葉との出会い

暴力として言葉を得ること（セクハラ、虐待、DV、ストーカー、リベンジポルノ）

⇒NOと言える。

啓発ができる。

社会の問題として、取り組むことができる。

2004年4月

エンパワメントかながわ設立

10代の子どもたちに、

デートDVを予防することで、

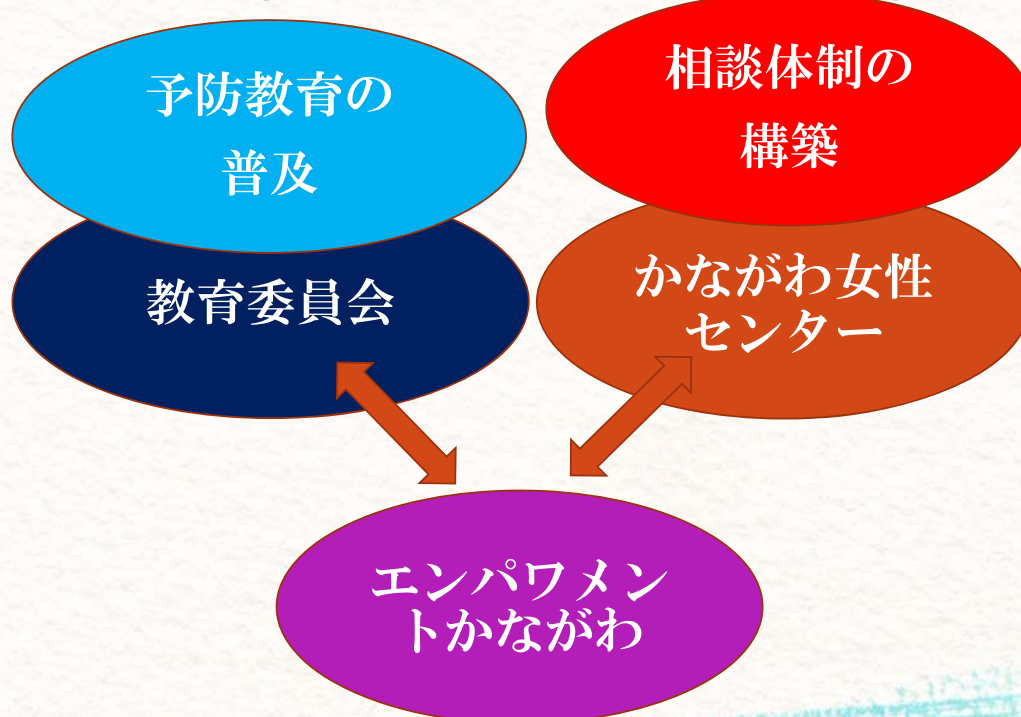
DVや虐待を減らしていくことができる

と考え、プログラム開発と普及を開始

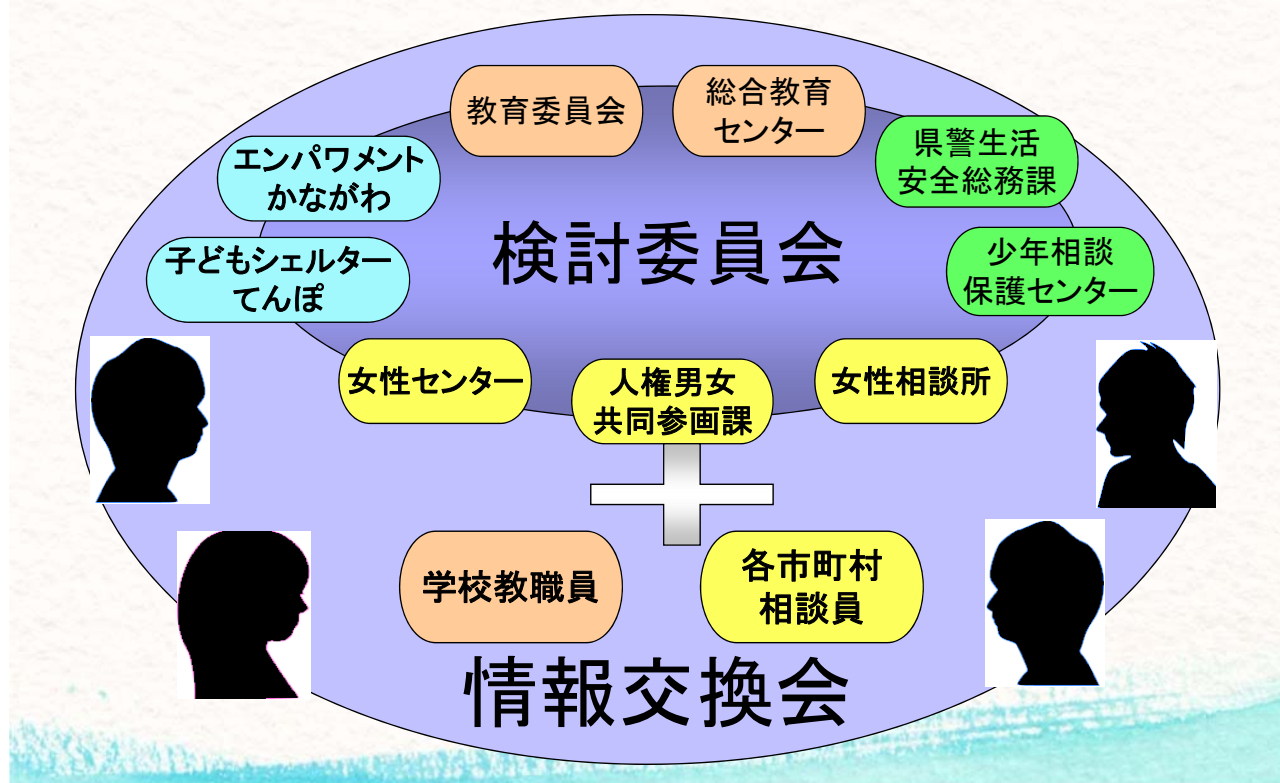
2007年度 横浜市協働事業

- ・市内高校での本格実施が始まる
- ・内閣府の委嘱を受けた横浜市に協力し、「デートDVについての意識・実態調査」
- ・デートDV予防啓発サイト
「それってデートDVなんじゃない？」
<http://www.1818-dv.org/>

2009年度～2013年度神奈川県協働事業 デートDV防止のためのシステム構築事業



学校現場と県内の様々な機関が顔の見えるネットワークを作っていた



～デートD V 110番の運営～

- 2011年1月 デートD Vに特化した電話相談としては全国で初めて開設
- 毎週 火曜日18時～21時
土曜日14時～18時
- 2014年4月より フリーダイヤル
0120-51-4477
- デートD V 110番サイト ddv110検索

～啓発冊子の制作～

- 「超カンタンデートDVの基礎知識」
神奈川県内の高校1年生全員に毎年配付
- 「びいまいせるふ」
神奈川県内の中学2年生全員に毎年配付
- 「まわりに起きてない？」
大学生向け予防ワークショップ受講生に配付

デートDV予防プログラム 参加型ワークショップ形式の人権教育プログラム 人と人とが対等で、お互いを尊重し合うことが目的



2014年度より ファシリテーター養成

対象にあわせたプログラムごとに養成

- ・中学生向け
- ・高校生向け
- ・大学生向け
- ・教職員向け

知的障がいのある高校生や成人へも実施

中学生向けデートDV予防プログラム 専用のワークブックを使用して進めていきます。



「全国デートDV実態調査」

- 2016年10月から12月
- 1都10県の中学生・高校生・大学生
2868人に、**予防教育受講後**に実施
(有効回答数2122人)
- 「デートDV白書VOL.5」として発行

交際経験のある人のうち、
なんらかの**被害経験は4割** **加害経験は2割**

全年齢		一つでも 被害	一つでも 加害	10代のみ		一つでも 被害	一つでも 加害
交際経験のある人		被害	加害	交際経験のある人		被害	加害
全体	N=1329	38.9%	20.8%	全体	N=1186	37.9%	21.0%
女性	N=894	44.5%	21.0%	女性	N=771	43.8%	21.4%
男性	N=435	27.4%	20.5%	男性	N=415	26.7%	20.2%

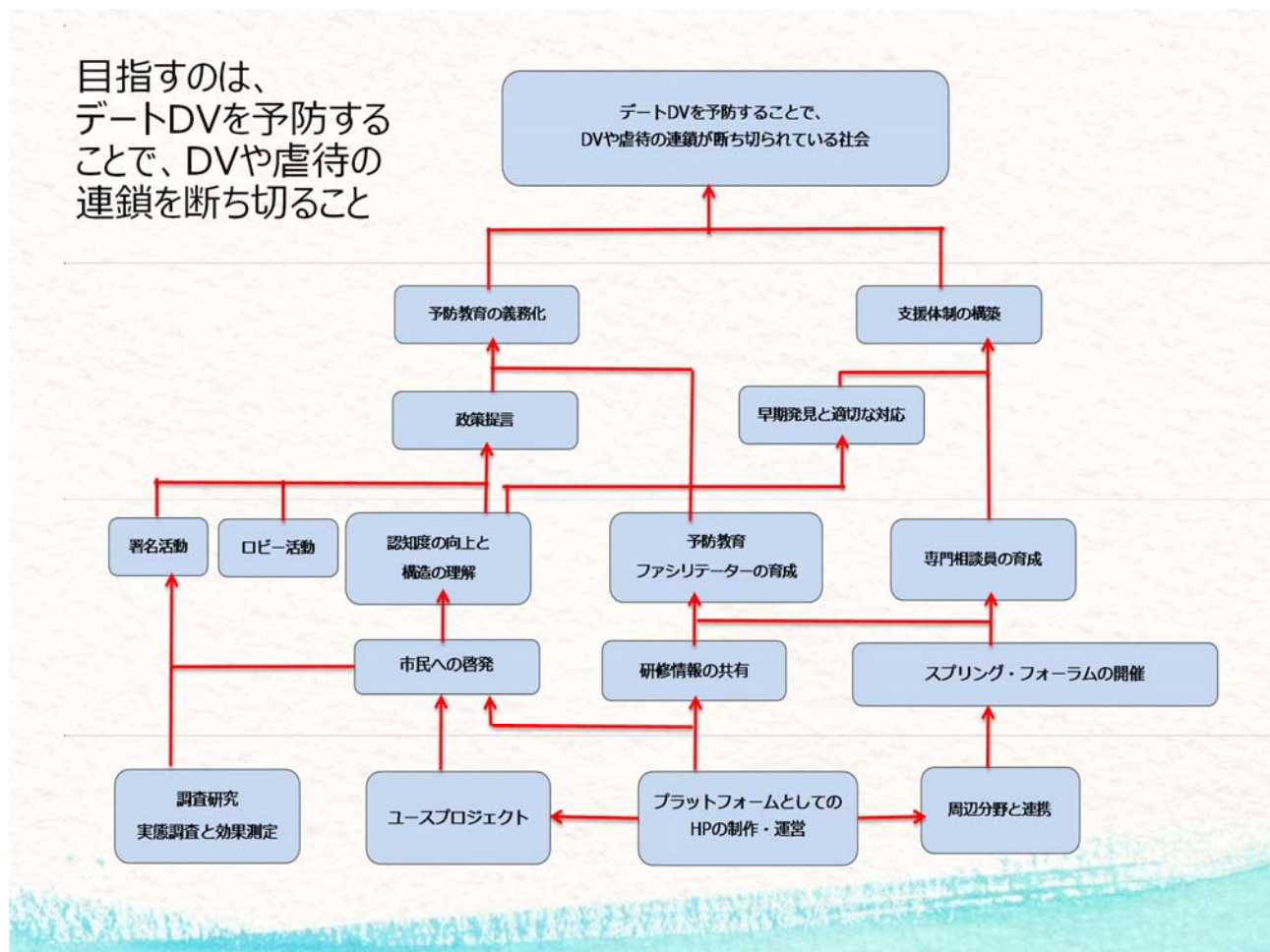
全国デートDV実態調査平成28年10月～12月認定NPO法人エンパワメントかながわ

デートDV防止全国ネットワーク 今年3月19日設立



デートDV防止に関わる ユースプロジェクトも全国にある

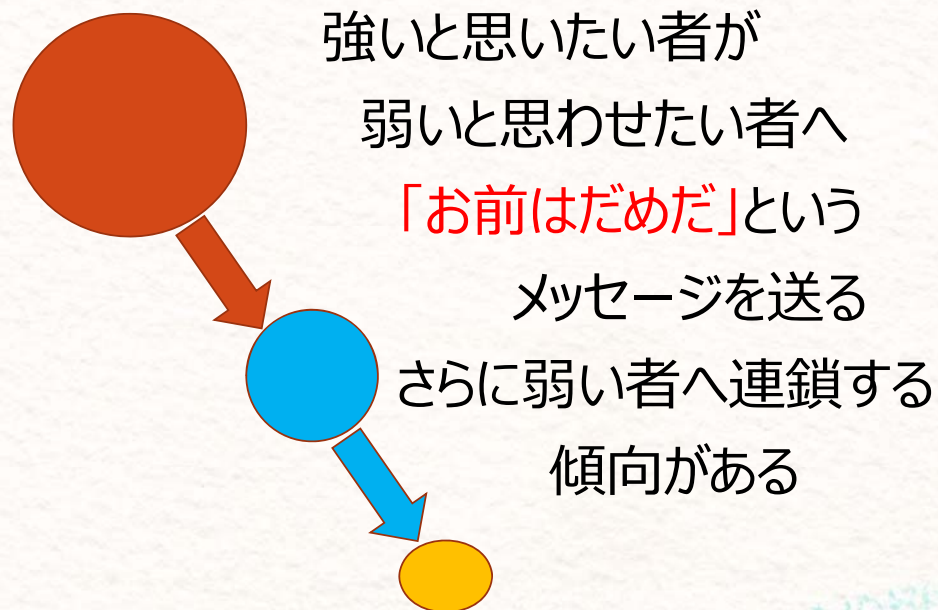
若い世代への啓発は、
若い世代から
若い世代を主役に
若い世代の力を借りる



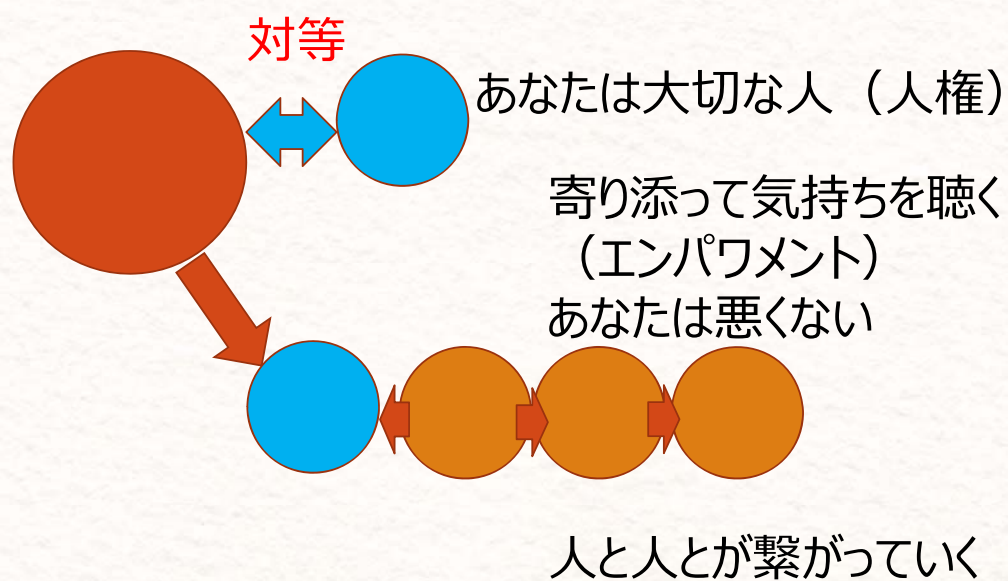
暴力をなくすために

禁止（～してはいけません。ダメ！）
や行動の制限（必ず～しなさい）
ではなく

暴力の構造



暴力の連鎖を断ち切るために



暴力をなくすために

あなたはとっても大切な人
暴力を受けずに生きていく権利を伝える
どんな理由があっても暴力を受けていい
人はいない

「自分で自分を大切にしてい」

自分で自分を大切に思えないと

- 被害に遭いやすい
- 被害からの回復が難しい
- 加害者になりやすい

自分で自分を大切に思えて、はじめて他人を大切に
思うことができる

加害をしたくないという気持ちを育てること

= 暴力の予防

子どもたちが教えてくれたこと

